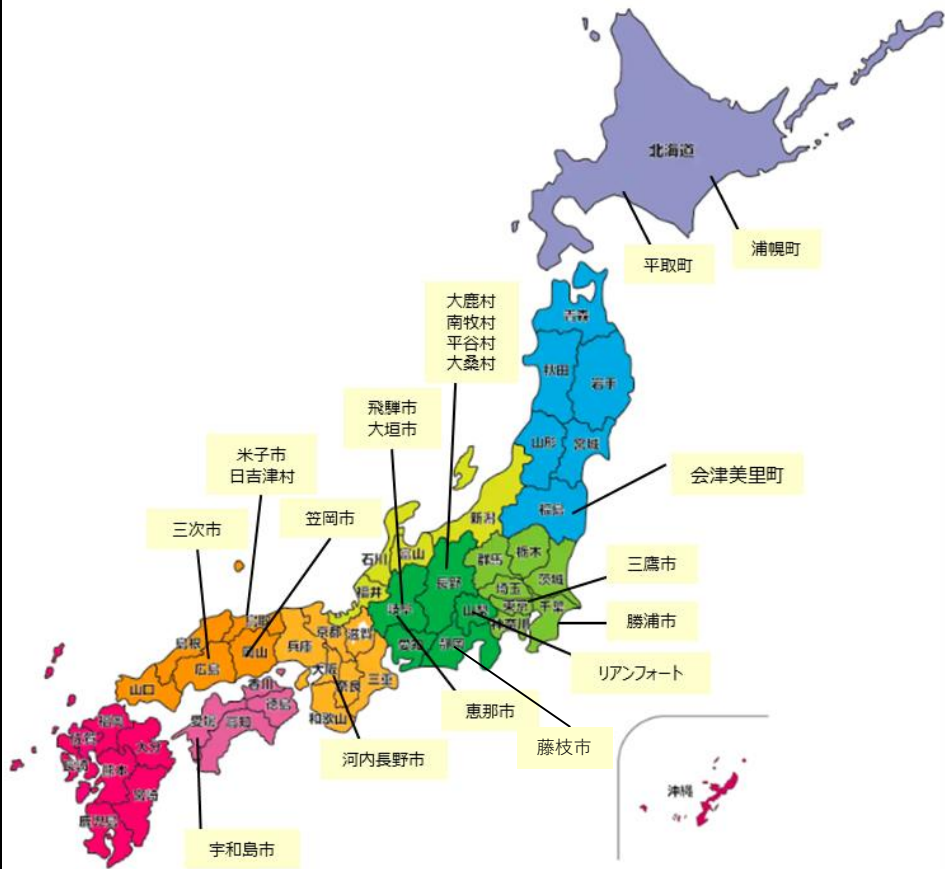


サービス導入先一覧(「スマートスピーカーを活用した『郵便局のみまもりサービス』」)

2025年3月1日現在

2022年1月のサービス提供開始以降、以下の団体に「スマートスピーカーを活用した『郵便局のみまもりサービス』」を導入いただきました。
※2021年12月以前には、岩手県遠野市、静岡県袋井市、兵庫県神河町でも実証事業を実施。

No	サービス提供期間	団体名
1	2022年1月～	長野県大鹿村
2	2022年4月～	長野県南牧村
3	2022年6月～2022年8月	岐阜県飛騨市
4	2022年8月～2022年9月	北海道平取町
5	2022年8月～	大阪府河内長野市
6	2022年10月～2023年1月	広島県三次市
7	2022年12月	東京都三鷹市
8	2022年12月～	愛媛県宇和島市
9	2023年1月～3月	岐阜県大垣市
10	2023年1月～	鳥取県米子市
11	2023年2月～	鳥取県日吉津村
12	2023年5月～6月	福島県会津美里町
13	2023年6月～	北海道平取町
14	2023年7月～12月	岡山県笠岡市
15	2023年7月～8月	東京都三鷹市
16	2023年10月～	千葉県勝浦市
17	2023年10月～11月	北海道浦幌町
18	2024年3月～	岐阜県恵那市
19	2024年9月～	長野県平谷村
20	2024年9月～11月	長野県大桑村
21	2024年11月～	リアンフォート（サービス付高齢者向け住宅）
22	2025年3月～	静岡県藤枝市



地図は簡略化したもので、島しょ部などを一部省略しています。

※サービス提供期間の終期の記載がない地方自治体は現在もサービス提供を継続中。

参考：高齢社会白書等へのサービス掲載

■ 令和5年度老人保健健康増進等事業
事業報告書及びハンドブックへの掲載

「スマートスピーカーを活用した『郵便局のみまもりサービス』」の取組及び北海道平取町の導入事例が掲載されました（事業報告書P31～39、ハンドブックP29）。

高齢者の孤独・孤立対策や家族介護者の負担軽減の視点も踏まえた
地域包括支援センターにおける見守り活動の効果的な実施に関する調
査研究事業

■ 高齢社会白書への掲載

長野県大鹿村での取組が、内閣府の令和4年版高齢社会白書に掲載されました（P58）。

第1章第3節 トピックス デジタルを活用し高齢者と地域のつながりを生み出し
ている事例② ～ユーザー平均年齢87歳の新たなチャレンジ～

[illegible]

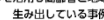
事業報告書
掲載サイト



■ 情報通信白書への掲載

サービスについて、総務省の令和4年度版情報通信白書に掲載されました（P200～201）。

第4章第9節 郵政行政の推進



デジタルを活用し音楽と地域のつながりを 生み出している事例②

～ユーザー参加型音楽7th年度新たなチャレンジ～

本音の思い・背景

音楽活動従事者（個人）1937人、地域住民約1674人により、日本音楽の歴史と文化を伝える、デジタルによる音楽教育の取り組み「音楽と地域のつながり」を今年よりスタートさせた。音楽活動従事者や地域住民の参加を促すべく、スマートフォンやタブレット端末のデジタル技術を活用した取り組みを今年より実践している。

より具体的には、デジタル端末により、音楽教育の現場がより身近に感じられること、利用のしやすさ、ウェブ上で音楽の共有が容易で、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。

具体的な取り組み

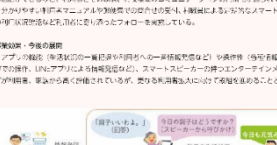
音楽制作アプリで、スマートフォンを楽器とするのにより音楽を制作できる。音楽性との関係や制作、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加することが、スマートフォンによる音楽制作で実現している。スマートフォン、タブレット端末を音楽制作のツールとして、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。

効果・成果

より具体的には、デジタル端末により、音楽教育の現場がより身近に感じられること、利用のしやすさ、ウェブ上で音楽の共有が容易で、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。

事例から学ぶポイント

音楽制作アプリの活用により、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加することが、スマートフォンによる音楽制作で実現している。スマートフォン、タブレット端末を音楽制作のツールとして、音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。音楽制作の現場に直接参加し制作に参加したい。



内閣府
公式サイト

掲載
ページ

総務省
公式サイト

掲載
ページ

参考： デジタル田園都市国家構想（推進） 交付金の採択事例

「スマートスピーカーを活用した『郵便局のみまもりサービス』」は、「デジタル田園都市国家構想（推進） 交付金 デジタル実装タイプ（TYPE1）」において、令和3年度補正予算では、4自治体（大阪府河内長野市、鳥取県米子市、鳥取県日吉津村、愛媛県宇和島市）、令和4年度第2次補正予算では、2自治体（千葉県勝浦市、岐阜県恵那市）が採択されました。

鳥取県日吉津村

- 災害時における住民の安否確認を実施。また、県の防災情報をスマートスピーカーに送信して、防災への意識向上を図る。
- 実施期間：2023年2月～

千葉県勝浦市

- スマートスピーカーを通じた体調把握など見守り体制の強化を実施。また、市からの情報配信体制の整備、遠方で暮らす家族との繋がりに活用して高齢者に安心した生活の提供。
- 実施期間：2023年10月～

岐阜県恵那市

- 対象地域の住民宅にスマートスピーカーを設置。行政情報のタイムリーな提供、体調把握並びに災害時の安否確認が取れる体制の整備。
- 実施期間：2024年3月～

各自治体の導入事例



大阪府河内長野市

- 住民の介護予防を図るため、スマートスピーカーを通じた体操動画配信や体重・血圧等のヒアリングを実施。
- 実施期間：2022年8月～

愛媛県宇和島市

- スマートスピーカーを活用した郵便局のみまもりサービス、タブレット端末を活用したオンライン診療・オンライン服薬指導のサポートを実施。
- 実施期間：2022年12月～

鳥取県米子市

- 住民の健康増進を図るため、スマートスピーカーを通じた体操動画配信や体重・血圧等のヒアリングを実施。
- 実施期間：2023年1月～

サービスは、参考事例集（令和3年度補正予算）にも掲載されました。採択事例等は、以下のサイトに掲載。

地方創生 > 施策 > 地方創生未来技術支援窓口 > デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）

参考： Digi甲子園2023 内閣総理大臣賞受賞について等

■ Digi田甲子園2023（内閣官房）で内閣総理大臣賞を受賞！

愛媛県宇和島市の「スマートスピーカーを活用した郵便局のみまもりサービスの提供およびタブレット端末を活用した遠隔医療支援に関する事業」がDigi田甲子園で内閣総理大臣賞（審査委員会選考枠＜地方公共団体部門＞）を受賞しました。

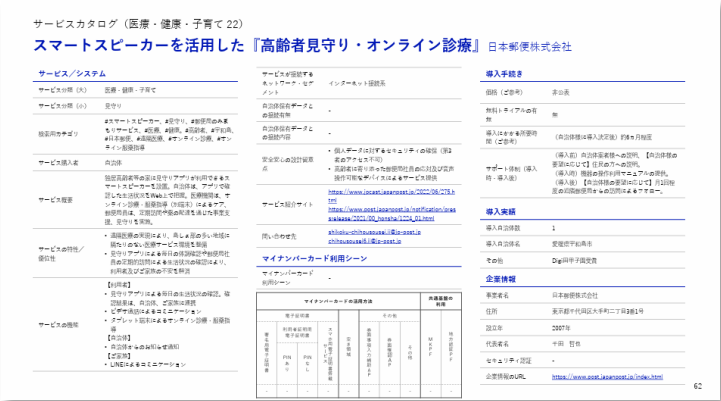
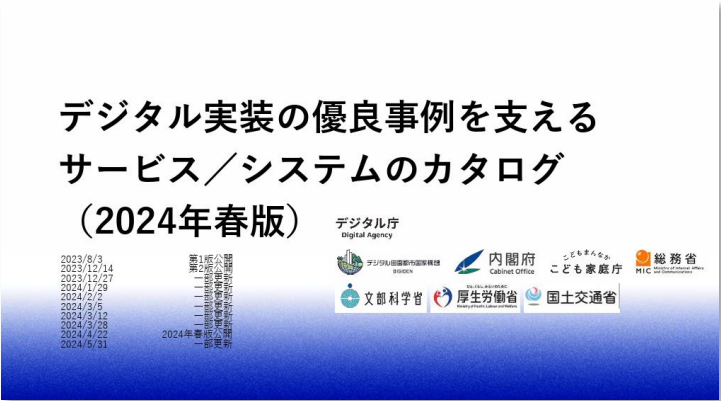
Digi田甲子園2023とは、地方公共団体、民間企業・団体など様々な主体がデジタルの力を活用して地域課題の解決等に取り組む事例を幅広く募集し、特に優れた取組を内閣総理大臣賞として表彰するものです。



掲載ページ

■ デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ（2024年春版）（デジタル庁）への掲載

デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムの横展開を加速化するため、デジタル庁が作成した「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ（2024年春版）」（P62）にスマートスピーカーを活用した「高齢者見守り・オンライン診療」の取組が掲載されました。



掲載ページ